

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄 (速記) 第四回

會議

昭和八年二月二十一日(火曜日)午前十時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 田中 貞二君

福井 甚三君 松山常次郎君

清家吉次郎君 三善 信房君

土井 權大君 宮崎 一君

池田 秀雄君 村松 久義君

山田 助作君 木曾三四郎君

高田 耘平君 小池 仁郎君

由谷 義治君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、大臣ハ

貴族院ニ祕密會ガ開カレテ居ルノデ暫ク遅レルサウデスカラ、事務的ノ質問ガアリマシタラバドウゾ一ツ……

○土井委員 御尋致シタイノデアリマス、

第一ニ御尋致シタイノハ、米穀統制法ヲ臺灣竝ニ朝鮮ニ於テ施行スルヲ要スル條項ハドレノデアリマスカ、言葉ヲ換ヘテ申上

ゲマスナラバ、朝鮮米、臺灣米ノ壓迫ノ爲ニ内地米ガ非常ニ困難ナ狀態ニ陥ッテ居ルノデアリマス、故ニ眞ニ此統制ヲ徹底セシ

メヤウトスルニ付キマシテハ、臺灣竝ニ朝鮮ノ米穀ト云フコトニ著眼スル必要ガアルノデアリマスルガ、就キマシテハ此統制法

全部ヲ施行スルコトハ出來ナイデアリマセウ、又此條文ノ上カラ見マシテモ左様ニ見エマセヌ、併ナガラ粟デアルトカ、高粱ト

カ、黍ノ輸入制限ナドヲ見マスト、是等ハ朝鮮ニ施行スル條項ノヤウニモ思ヘルノデアリマス、ソコデ兎ニ角此統制法ノ條文中

何レノ條文ガ臺灣又ハ朝鮮ニ施行ヲ要スル

條項デアルカ、ソレヲ第一承リタイノデアリマス

○荷見政府委員 御答申上ゲマスガ、御話

ノ通り此米穀統制法ハ、内地ニ於キマスル米價ノ調節、數量ノ調節ノ爲メノ問題デアリマスノデ、其中朝鮮及臺灣等ニ施行サレ

ル簡條ハ數簡條ニ過ギナイノデアリマス、即チ第七條米穀ノ輸出入ノ許可制度ニ關スル事項、第八條粟、高粱又ハ黍ノ許可制度

ニ關スル事項、第九條米穀、粟、高粱又ハ黍ノ輸入税ノ増減又ハ免除ニ關スル條項、ソレカラ第十二條ノ輸入制限ニ違反シタル

者ニ對スル罰則ニ關スル事項、此條項ダケガ朝鮮、臺灣等ニ施行サレルコトニナリマス

○土井委員 茲デ二ツノ疑問ガ生ズルコト

ニナッタノデアリマスルガ、第一ハ昨日田中委員カラノ質問デアリマシタ朝鮮ノ白米、之ニ對シテハ數量調節ノ場合ニ如何ト

モスルコトガ出來ナイ、自由放任ヲ致スヨリ仕方ガナイト云フヤウニ私ハ聽及シダノデアリマスルガ、果シテ然リトスレバ、御

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

承知ノ通り朝鮮ハ米ヲ加工スル場合ニ於

テ、即チ粳ヲ玄米ニスルトカ云フコトニ於テハ非常ナ大資本主義デ大キナ機械ヲ以テヤッテ居ルコトヲ承ッテ居リマスルガ、サウスルト、此法律ノ穴ヲ潜ル考ヲ以テ、更ニ

加工事業ヲ進マシテ、白米ニシテドン、大阪トカ、或ハ下關、九州方面ヘ持つテ參ル事ト云フコトニナレバ、折角ノ此數量調節

モ、白米加工事業ノ爲ニ阻碍サレル虞ナキヤ否ヤ、是ガ第一デアリマス、ソレカラ第二ト致シマシテハ、斯様ナ次第デモアリマ

スルシ、且又曩ニ申上ゲマシタ通り、朝鮮米、臺灣米、特ニ此朝鮮米ノ壓迫ト云フモノガ激シイノデアリマスルガ、其朝鮮米ニ

對スル對策ハ是レ以外ニ御考爲サッテ居ルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、其二點ニ付テ御伺致シタイノデアリマス

○荷見政府委員 只今ノ御尋ニ御答申上ゲ

マスガ、此米穀統制法ニ依リマシテ朝鮮カラノ移入セラレル米穀ノ數量調節問題ニ付キマシテハ、第四條ノ規定ニ依リマシテ、

朝鮮カラ内地ニ移出サレル米穀ノ數量ヲ月別平均的ニナラシメル爲ニ、出廻期ニ於テ

米穀ノ買入ヲ爲シ、其後ニ於テ賣渡ヲ爲スト云フ簡條ガ米穀統制法トシテハ働ク譯ニナツテ居リマス、隨テ此買入ノ目的物デアリマスル米穀ノ種類ハ、粃デアリマシテモ、玄米デアリマシテモ、白米デアリマシテモ、何レデアリマシテモ差支ハナイノデアリマス、唯私共ガ之ヲ調節ノ爲メ買入レマストノニハ、ドレヲ買ッたら宜イカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、大體内地ノ市場ニ於キマシテ、米價ニ最モ影響ヲ及ボス力ノ強イモノハ是ハ玄米デアリマスノデ、其玄米ノ内地ニ移出サレルノヲ調節致シマスト、一番效果ガアルカラ、玄米ヲ主トシテ買入レルコトニナツテ居リマス、又御話ノ白米ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ多ク入レバ内地ノ米ヲ壓迫スルノデアリマスカラ、好イ結果ハナイコトハ明デアリマスガ、玄米ノ程度デアリマセヌノデ、是ハドチラニ力ヲ注グカト言ヘバ、玄米ノ方ニ力ヲ注イデヤッタ方ガ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ此外ニ朝鮮米ノ移出調節ノ方法ハナイカト云フコトデアリマス、此事ニ付テハ拓務省ノ方デ主ニ致シテ居リマスノデ、詳細ノ問題ハ拓務省ノ方カラ御聴取ヲ願ヘバ結構カト思ヒマスガ、大體ノコトヲ申上ゲマスト、朝鮮ノ主ナル所ニ農業倉庫ヲ造

リマス、ソレカラ移出港ニハ商業倉庫ヲ造ラセマス、此農業倉庫、商業倉庫ニ入レマシタ米ニ低利資金ヲ供給致シマシテ、チウシテ出來秋ニ一時ニ資金ノ必要ノ爲メノ賣崩シヲサセナイヤウニ致シマシテ、内地ヘ米ノ入ルコトヲ防ギマスコトヲ致シテ居リマスノト、モウ一ツハ、其倉庫ガマダ十分デアリマセヌノデ、野積ト云フコトヲ獎勵致シマシテ、朝鮮ノ方デハ、出來秋カラ餘程乾燥シテ居リマスノデ、倉庫ヘ入レナイデモ貯藏ノ出來ルモノガアリマスノデ、野積ヲ致スモノニマデ金融ヲ致シテ、内地ニ出ルコトヲ相當抑ヘヨウト云フ建前ヲ執ッテ居リマス、尙ホ此統制法ニハ書イテゴザイマセヌガ、米穀統制調査會ノ答申ノ附記ノ方ノ事項ト致シマシテ、朝鮮米等ノ移入ノ調節ノ問題ニ付テハ、中央政府ト朝鮮總督府等ト十分ノ協調ヲ遂ゲテ、其目的ヲ達スルヤウニ努力スルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマシテ、其方ノ協議トカ、聯絡トカ云フコトモ十分ニ圖ルヤウニシタイ、斯ウ云フ風ニナツテ居ル譯デアリマス、尙ホ御參考ノ爲ニ、是ハ付加ヘテアリマスケレドモ、昨年ノ議會以後、朝鮮米ノ季節調節ノ買入ヲ致シテ居リマス結果、今年内地ニ朝鮮米ノ入ッテ來テ居リマス模様ヲチヨット

申上ゲテ見マスト、大體朝鮮ノ實收高ハ、前年ニ較ベマシテ今年ハ四十七萬石バカリ増收致シテ居ルノデアリマスガ、今年ノ十一月カラ一月マデノ内地移入數量ヲ見マスト、前年ノ同時期ニ較ベマシテ約三萬石ノ増加ニナツテ居ルノデアリマス、收穫ハ四十七萬石増デアリマスガ、移入數量ハ三萬石増ト云フコトニ止ッテ居リマス、殊ニ玄米ノ方ハ買入ヲ數同ニ互ッテ致シテ居リマスノデ、前年十一月カラ本年一月マデノ移入數量ガ、前年同期ニ較ベマシテ、二十四萬石バカリ減少シテ居ルト云フヤウナ狀況ニナツテ居ル次第デアリマス、勿論色々經濟事情モ働キ、米價ノ狀況モ變ルノデアリマスカラ、買入レルト云フコトガ必シモ斯ウ云フ結果ヲ生ジタト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌケレドモ、何程カ效果ガアッテ、斯ウ云フコトニナツテ居ルダラウ、尙ホ是ガ熟シテ參リマスレバ、相當ノ效果ヲ舉ゲルモノデヤナイカト云フ、マア期待ヲ有ッテ最初ノコトデアリマスカラ、眺メテ居ル譯デアリマス

○土井委員 能ク分リマシタ、次ニ御伺致シタイノハ米ノ検査ノ問題デアリマス、即チ米穀検査ノ問題デアリマス、御承知ノ通り、大抵今日ハ縣營検査ト云フコトニ相成ッテ居リマス、而シテ其検査ハ生産検査、移出検査、斯ウ云フ二ツノ検査ヲヤリマス、所ガ愈々政府ガ買上ゲル時ニ當リマシテハ、更ニ嚴重ナル検査ヲサレマス、是モ當然ノコトデアリマセウ、兎ニ角金ヲ掛ケテ品物ヲ買入レル譯デアリマスカラ、嚴重ナル検査ヲサレルノハ當然デアリマス、所ガ農家ノ苦ンデ居ルノハドノ點デアアルカト申シマスレバ、既ニ生産検査ハ通ッタ、ソレカラ又移出検査モ通ッタ、ソコデ關西デ申上ゲマストナラバ大阪ヘ持ッテ參ル、ソコデ政府ニ賣渡スル、所ガ検査撥ネ、所謂等外品、ベケニサレテシマッタモノハ、持ッテ歸ルトスレバ非常ニ運賃ガ掛カル、賣ラウトスレバ既ニベケ物ナリ、等外品ナリト云フ印ヲ付ケラレタガ爲ニ格下ニナル、斯ウ云フコトガ現在アルノデアリマス、非常ニ是ハ農家ガ苦ンデ居ルノデアリマス、是ハ獨リ關西ノミナラズ、各地左様ナ經驗ガアルコト、思フノデアリマス、ソレハ何故ニ左様ナコトニナルノデアアルカト、段々研究シテ參リマスト云フト、要スルニ日本全國ノ上カラ申シテノ検査ノ統一ト云フモノガ付イテ居ラス、即チ各府縣對立ト云フ點モアルデアリマセウ、又検査ノ履行ト云フコトモ出來ナイ點モアルデアリマセウ、就テハ將來此米

穀統制法ヲ實施スル上カラ申シマシテモ、

又管理案トカ、專賣案トカ云フモノモアリ

マスシ、又組合統制ト云フ論モアリマス

ガ、何レニスルトシテモ、此検査ノ統一、

所謂検査ノ統制デス、是ガ根本デアリマイ

カ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、ソコ

デ御伺致シマスルノハ、政府トシテハ現在

ノ各縣分立ノ検査ノ方ガ宜イト御考爲サル

カドウカ、ソレガ第一、第二ト致シマシテ

國立倉庫、所謂大阪等ニ於テ直接政府ガ御

買ヒ爲サル時ニ、政府ハ嚴重ナ検査ヲ爲

サツテ居ル、是ハ惡イトハ申シマセヌ、併ナ

ガラソレデ撥ネラレタガ爲ニ、非常ニ農家

ガ苦シデ居ルト云フ事實ヲ御認めニナラレ

ルカドウカ、是ガ第二、ソレカラ第三ト致

シマシテ、將來米ノ検査ト云フモノヲ統制

スル、所謂統一制限スル、國ニ於テスルト

云フ御考ナキヤ否ヤ、此三點ニ付テ御伺致

シマス

○荷見政府委員 只今御話ニナリマシタ通

リニ、米穀検査ノ制度ガ各府縣府縣ニ於テ

行ハレテ居ル結果、ソレヲ改善スル必要ガ

アルト思フガ、ドウカト云フ問題デアリ

マスガ、此問題ハ吾々ノ係ノ方デ直接致シ

テ居リマセヌノデ、後程適當ナ時ニ讓ッテ

○土井委員 宜シイ

○荷見政府委員 ソレカラ國立倉庫、米ノ

賣渡ノ場合ニ於キマシテ政府ノ検査ガ行ハ

ル、結果、不合格米ヲ出シタ場合ニ、其不

合格米ノ處分ニ付テ、政府ニ應募致シマシ

タ者ガ非常ニ困難ヲ感ズルト云フヤウナコ

トヲ認ムルカドウカト云フコトデアリマ

ス、此點ニ付キマシテハ各地方ニ事務所ガ

ゴザイマシテ、多クノ人ガ從事致シテ居ル

ノデアリマスカラ、若シモ何かサウ云フ風

ナ人ニ苛酷ナコトガアッテハイカヌト考ヘ

マスノデ、平素十分注意ヲ致シテ居ル譯デ

アリマス、時々ハ不合格ニナッテドウモ困ッ

タト云フ話モ聞クノデアリマスガ、最近ニ

於キマシテハ、其傾向モ大分薄ライデ、檢

査員ノ方デモ十分親切ニヤッテ居ルノデア

リマセウカ、餘リ私共ノ方ニハ其不満足ノ

聲ヲ聞カナイヤウニナッテデアリマスガ、

尙ホ若シモ其狀況ニ付テ御不審ノ點ガゴザ

イマスレバ、不合格米ガドレ位ノ「パーセ

ント」ニ出テ居ルカト云フコトモ能ク調べ

マシテ、申上ゲテモ宜シイト思ヒマスガ、

大分只今デハ減少シテ居ルヤウニ承知致シ

テ居リマス

○土井委員 モウ一ツ二ツデアリマスガ、

ウニナルカハ知レマセヌガ、御答ヲ願ヒタ

イノデアリマス、固ヨリ此米價ヲ維持シ、

農村ノ購買力ノ培養ト云フコトハ獨リ農村

ノ利益ノミナラズ、國家經濟ヲシテ發達セ

シメル所以デアリマスガ、唯憂ヘルノハ、

昨日モドナタカラカ、村松サンデシタカ御

質問ガアツヤウデアリマスガ、非常ニ此米

ノ値ガ高クナッテ農家ハ喜ブ、所ガ一方ニ消

費者ガ苦シムト云フコトモ無キニシモ非ラ

ズデアリマスガ、此點ヲドウスルカ、是ハ

米穀統制法以外ノ問題デアリマセウガ、何

カ此苦シム人、米ヲ食フコトノ出來ナイ人

ヲ助ケル途モ考ヘテ行カナイト、政治ハ公

平ト言ヘヌダラウト思フ、此米ノ統制トハ

別問題デアルガ、ソレニ對シテドウ云フ御

考ヲ御有チニナッテ居ルカ、ソレカラ第二ト

致シマシテ、眞ニ統制ヲ貫徹セシメ、將來

又根本策ノ樹立ト云フコトニナリマスルト

云フト、此民業ノ壓迫ト云フコトニ相成ル

點無キニシモ非ラズデアリマス、即チ米穀

取引所、其取引員、米穀商及精米業者ソレ

等ニ對シテハ何等カ賠償ノ途デモ御考爲

サツテ居ルノデアリマセウカ、如何デアリマ

セウ、即チ私ノ御尋致シマシタノハ、消費

者方面ヲ救済スルノヲドウスルカ、是ガ第

一、第二ト致シマシテハ、民業ノ壓迫ニ對

スル對策ハドウ爲サルノデアルカ、之ヲ御

伺致シタイノデアリマス

○荷見政府委員 私共ガ目標ト致シテ居リ

マスル米穀ノ價格ノ調節ト云フ點ニ付キマ

シテハ、一定ノ生活ヲ致シテ居ッテ、米ノ消

費ト云フモノヲ普通ノ經濟ノ上ニ於テ爲シ

得ルト認メル最低限ノモノヲ眼中ニ置キマ

スルノデ、其以下ノ「ルンペン」ノ食料問題

ト云フヤウナ問題ニ付キマス、私共ノ範

圍ニドウモ取入レルコトガ困難デアリマス

ノデ、出來ナイノデアリマス、ソレカラ民業

ノ壓迫ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ只

今ノ米穀統制法ヲ以テハ別ニ壓迫ト云フ程

度、又ハ賠償ヲスルト云フ程度ニハナラヌ

モノト、斯ウ考ヘテ居リマス

○土井委員 餘リ問題ガ横ニ外レタヤウデ

アリマシタカラ其御答デ十分デス、詰リ私

ト致シテ斯ク申セバトテ米ヲ安クシタラ

宜イト云フヤウナ議論ヲシタノデモナケレ

バ、又統制法ノ中ニ安クスルト云フヤウナ

途ヲ立テト言ウタ譯デモナイ、統制法ハ

統制法トシテ飽マデ徹底的ニ統制シテ行カ

ナケレバナラヌト云フ議論ニ於テハ主張ニ

於テハ何等異ル所ハナイ、併シ一面ニ於

カラ出シテ居リマシタ米穀改正案ニ依リマスルト、無償貸付ケルトカ云フヤウナ途モアッタノデアル、ケレドモソレハ統制法ト關係ナイコトデアリマシテ、總理大臣トカ、或ハ内務大臣トカ云フ方面ノコトデアラウカト思ヒマスルカラ、強イテ左様ナ難シイ問題ヲ御答願ヒマセヌ、ソコデ米穀取引所竝ニ其取引員、米穀商ニハ餘リ壓迫ハナイ、斯ウ云フ御考ノヤウデアリマスルガ、大分此米穀取引所ナリ取引員ナドガ脅威ヲ感じテ居ルヤウデアリマス、併シ左程此統制ニ於テハ脅威ガナイト云フ御考デアレバ、又何ヲカ論ゼンヤデアリマス、併シ世ノ中ニ於テ左様ナ議論ガ起キテ居リマスカラ、一應政府ノ御意見ヲ承ツタ次第デアリマス、次ニ根本問題ハ大臣ガ見エテカラ御尋致スコトニ致シマシテ、一ツ二ツ御聽キヲ致シタイノハ、此統制法ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニナッテ居リマスルガ、ソレハ何時頃カラト云フコトニナルカ、之ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、其期日ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此統制ヲヤッテ行ク上ニ於テハ、政府モ統制ヲ飽マデモ履行シテ戴クト同時ニ、又民間ニ於テモ自治的ニ此統制ト云フコトヲ

ヤッテ行カナケレバナラヌノハ申スマデモアリマセヌ、幸ヒ此頃稍々統制ノ端緒ヲ就ケツツアルノハ、農會方面、或ハ産業組合方面ニ於テモ其心ヲ以テ統制シツ、アル現狀デアリマスルガ、唯憂フルノハドウモ産業組合ト農會トガ切磋琢磨ト言ヘバ宜シイガ、非常ナ競争ヲシ、喧嘩ヲシ、仲悪クヤッテ居ル、切磋琢磨ト云フ點ニ於テハ洵ニ嘉スベキデアリマスガ、其切磋琢磨ノ結果所謂不統制トナリ、不統一ナルト云フ例ガ非常ニ多イノデアリマス、ソコデ眞ニ統制ヲ徹底セシメヤウトスルナラバ、何カ此間ニ政府ノ御盡力ニ依ルカ、若クハ法律ヲ以テ農會ハ米ナドヲ取扱フベカラズ、産業組合ノミニ依ッテ此統制ヲセヨトカ、或ハ農會ノミニ依ッテセヨトカト云フヤウナ途ヲ付ケナケレバ、將來禍根ヲ生ジ、折角ノ自治的統制モ完カラズト考ヘルノデアリマス、即チ私ノ只今御尋致シタノハ施行期日ノ件、第二ハ産業組合ト農會トノ統一連絡ガナイ、ソレ故ニ此統制ガ出來ナイ、之ニ對スル對策ヲドウ爲サルカ、是ダケガ私ノ運用ノコトニ付テノ御尋デアリマシテ、大臣ガ見エマシタナラバ根本的ニ付テニ三、承ツテ見タイト思ヒマス、其御答ダケヲ受ケマシタラ、ドウゾ其次ノ方ノ御質問ヲ願ヒマス

○荷見政府委員

此米穀統制法ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ定メルコトニナッテ居リマスガ、私共ノ見込デハ色々方面ニ準備ガ要リマスノデ、十分ノ研究モ此間ニ致シタイト考ヘマスノデ、新米穀年度、詰リ本年ノ十一月カラ施行致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ自治的統制ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ米穀統制調査會ニ於テモ答申ニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、産業組合農業倉庫等ヲシテ、自治的統制ヲ圖ラシムルコト、云フコトニ決議ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ吾等ト致シマシテハ、ソチラノ方面ヲ十分援助助長致シテ、其目的ヲ達スルヤウニ致シタイト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、勿論農會等モ生産者ノ團體デアリマスカラ、其間ニ立ッテ十分其機能ノ發達ニ助力サセルコトヲ希望スル次第デアリマス

○村松委員

土井サンノ御質問ニ關聯致シマシテ一言伺ヒタイノデアリマス、消費者保護ノ問題、是ハ洵ニ私同感ニ存ジテ居リマス、ソレニ關聯致シマシテ政府米ノ海外販賣ノ實際ノ狀況ヲ審カニセラレンコトヲ希望致シマス、嘗ツテ新聞紙上ニ現レマシタル通り、海外ニ對シテ一升僅ニ八錢デ之ヲ賣却致シテ居ルト云フ記事ガアッタト思ヒ

マスルガ、其後ニ於テ食ヘザル人々ガ農林省ニ押掛ケテ參リマシテ、我等ニモ其條件ト同ジヤウナ値段ヲ拂下ヲシテ呉レト云フ新聞記事ガ又現レテ居リマシタ、實際ノ狀況ハ如何ニ相成ッテ居リマスカ、相當ニ重要ナ問題ト思ヒマスノデ、實情ヲ詳シク一ツ御知ラセヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員

只今ノ問題モ要スルニ米穀調節ノ問題ニ關聯シテ居ルト思フノデゴザイマスガ、大體政府ガ海外ニ所有米ヲ賣却致シマシタノハ昭和五年ノ大豐作ノ時デアリマシテ、當時ハ取引所ノ立會マデ停止致シ、モウ米價ガ逆落シニ慘落致シタ時デアリマシテ、是等ノ調節ト致シマシテハ、政府米ノ相當ノ買置モゴザイマシタカラ、相當數量ノ政府所有米ヲ減少スルガ宜イト云フノデ、其時ニ有ッテ居リマシタ極ク古イ米ヲ外國ヘ相當分量出シタノデアリマス、ソレハ歐羅巴、南北亞米利加、南洋、濠洲、支那、全世界ニ互ッテ賣却致シタノデアリマスカラ、中ニハ相當ノ價格、内地ニ於テ賣却スル程度、或ハソレヲ一寸越ス位ノモノモアリマスシ、相當低イ價格ノモノモアリマス、唯其口數ト云フモノガ非常ニ多イ數デアリマスカラ、私今此處デ申上ゲル程ニ記憶致シテ居リマセヌ、其後ドウデ

アツカト申シマス、其大豐作ノ時ノ米ノ賣却ノ結果、歐羅巴等ニ於キマスル販路ハ非常ニ擴張セラレ、開拓セラレタノデアリマシテ、最初ハ殆ド此方カラ持ッテ参リマスル米ガ安全ニ著クカドウカ、途中デ悪クナリハセヌカト云フヤウナコトデ、連モ取引ノ商談ヲスルコトハムヅカシカッタノデアリマスケレドモ、向フニ輸送シテ見マシタ結果、案外惡イ結果デナカッタモノデスカラ、相當ノ價格ガ出テ参リマシテ、終リノ頃ニハ歐羅巴ノ西班牙米、或ハ伊太利米アタリト伍シテ取引サレルヤウナ可能性ガ出來タノデアリマス、ソレデ非常ナ大豐作ノ時デモアレバ、又サウ云フヤウナ方面ニ賣却スル必要ナ場合モアルノデアラウト考ヘラレマシタノデ、其後モ極ク僅カノ數量、市場ヲ維持スルニ必要ノ限度ノ米ヲ一、二回賣却致シテ居リマスガ、是等ノ米ハ何時カ新聞デ御覽ニナッタ米寄越セ會ノ人々ガ言ヒマシタヤウナ、安イ價格デハゴザイマセヌノデ、相當ノ高値ヲ以テ賣却シテ居ル狀況デアリマス、併ナガラ御話ノヤウニ内地ニ於テモ非常ニ困難ヲシテ居ル人々モアリマスノデ、無暗ニ政府米ヲ外國ヘ賣ルト云フヤウナコトハ勿論致シマセヌ、ノミナラズ内地ニ於キマシテモ、社會事業トシ

テヤッテ居ルヤウナ、例ヘバ「ルンペン」ノ簡易宿泊所デアルトカ、或ハ安イ食堂ヲ開イテ居ルヤウナ所デアルトカ、或ハ農村、漁村ノ非常ニ不況ナ所トカ云フヤウナ所ニハ、成ダケ政府ノ所有米デ、整理ヲ適當トスル米穀ヲ直接拂下ヲ致スト云フヤウナコトニ致シマシテ、御心配ニナリマスル最下級ノ者ニ對スル方面モ、此米穀法及需給調節特別會計法ノ許ス範圍内ニ於テ出來ルダケ緩和スルコトニ努メテ居ルヤウナ實情ニナッテ居リマス

○村松委員 諒承シマシタ

○福井委員 私ハ大臣ガ御出デニナリマシテカラ、此統制法ノ根本主義ヲ御尋シタイト

思ヒマスガ、只今ハ政府委員ノ管掌セラレテ居リマスル範圍内デ御尋シタイト思ヒマス、本統制案ヲ斯ウ云フ工合ニ編ミ出サレタト云フ精神ナリ、原因ハ何處ニ在ルカト言ヘバ、茲數年間非常ニ農村ガ疲弊困憊ヲ致シテ居ルノデ、米價ヲ維持スルト云フコトガ出發點ニナッテ居ルト信ズルノデアリマス、斯様ナ譯デ本案ガ生レ來テ皆サンノ御審議ヲ願フヤウニナッタモノデアルト致シマシタナラバ、何ト致シマシテモ過日來ノミナラズ、前議會ヨリ各議員カラ頻ニ諄イ程御質問ニナッテ居リマスル生産費ニ基

礎ヲ置カナケレバナラヌ、生産費ノコトニ付キマシテモ、一昨日來皆サンノ質疑應答ヲ承リ、政府委員ノ御答辯ニナッテ居ルコト等カラ思ヒマス、心細ク、又物足りナク感ズルノデアリマス、ソレハ何デアアルカト言ヘバ、生産費ヲ御示シニナッテ居リマスル石當リ二十圓八十七錢、是ハ餘リ低過ギル、低過ギル原因ハドウカト云フト、此間カラ御尋ニナッテ居リマス通り協議費ノ一部、若クハ運賃ノ加算ヲシテ居ラヌ、斯ウ云フコトニ歸著スルヤウデアリマス、ソレニ付テ政府委員ガ今回ノ最低價格ヲ決メルニ付テハ考慮シヨウ、斯ウ御答ニナッテヤウデアリマスケレドモ、果シテ部長ニ於テ此生産費ヲ以テ適當ナモノト御認メニナッテ居ルカドウカ、私ハドウシテモ之ニ對シテハ運賃ナリ、協議費ヲ加ヘタモノデナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ帝國農會ノ調、若クハ吾々ノ同志ガ調べテ居ル生産費ハ二十四、五圓ニ到達スルノデアリマスガ、サウ云フコトガ眞ノ生産費デアルト云フ御認メニナルカ、ドウカト云フコトヲ一ツ尙ホ諄イヤウデアリマスケレドモ、御尋スル次第デアリマス

○荷見政府委員 今ノ御尋ノ點ハ、先日來カラ問題ニナッテ居リマス戸數割ノ一部、又

ハ部落協議費デアッテ、米ノ生産ニ關係シタ部分、ソレカラ水利費、水利組合費以外ノ費用デ加算サレザル部分アリトスレバ其部分、ソレカラ今御話ノ農家ノ庭先カラ中央市場迄ニ至ル運賃諸掛費、サウ云フモノヲ如何ニ取扱フノデアアルカ、ソレ等ヲ加算シナイ所ノ現在ノ米穀生産費ト云フモノヲ適當ト認メルカドウカト云フヤウナ御話ノヤウニ伺ヒマシタガ、只今デハ吾々ト致シマシテハ、米穀生産費ノ調査ハ、米穀法ノ規定ニ基イテ調査シカナイノデアリマシテ、其ノ他ニ之ニ比較シテ考ヘル材料ノ持合セガ無いノデアリマス、ソレデソレニ依ッテ米ノ最低價格ト云フモノヲ決定スルヨリ外、決定ノ仕樣ガナイヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ帝國農會等ガ調べタモノヲ適當ト思フカドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ内容ヲ詳細ニ承知致シテ居リマセヌノデ、結局根本ノ調査方法ガドウナッテ居ルカト云フコトヲ具サニ承知致シマセヌカラ、當トモ、不當トモ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマスケレドモ、大體吾々ガ調査シタモノニ較ベテ費目別ニ付テ見マシテモ、種粳代ニ於テモ帝國農會ノ自作農ノ調査ト、吾々ノ方ノ自作農ノ部分ヲ調べテ見マシタトハ、農林省ノ調査ハ段當リ五

十五錢ニナッテ居リマスガ、帝國農會ノ調べハ四十七錢ニナッテ居リマシテ、農林省ノ方ガ種籾代ニ於テ八錢高ヲ見テ居リマス、ソレカラ肥料代ニ於テモ、農林省ハ八圓四十二錢、帝國農會ハ八圓四十錢ト云フノデアリマシテ、農林省ノ方ガ二錢高クナッテ居ル、勞賃ニ於テハ昨日申上ゲマシタ通り二十九錢高イ調べニナッテ居ル、サウ云フ風ナ工合デアリマシテ、一々申上ゲマスルト非常ニ煩雜ニナリマスカラ省キマスガ、一ツ一ツノ調査費目ニ付テ見マスと云フト、高イ安イト申シマシテモ、二錢トカ、十錢トカ云フヤウナ程度デアリマシテ、寧ろ帝國農會ノ御調査ヨリ吾々ノ調査ノ方ガ高目ニ付イテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレデ其違フ所ハ何處カト云フ問題ニナリマス、ソレハ所謂土地資本利子ト云フモノガ賣買價格ヲ抽象的ニ見マシテ、ソレニ何歩カノ歩合ヲ見テ斟酌致シマシタモノト、吾々ノ方ノ小作料等カラ調べタモノトノ違ヒニナルノデアリマス、ソレガ四歩ト致シマスト二圓五十三錢、帝國農會ノ方ヨリ低ク、ナリマスシ、三步トスレバ農林省ノ方ガ二圓四錢バカリ高クナルト云フヤウナ狀況ニナルノデアリマス、此何歩ト云フ歩合ヲ何處ニ求メルカト云フコトニ依ッテ違ッテ來ル

ト思フ、ソレデソレナラバ調査區劃ト云フヤウナモノモ、段當リノ生産收穫量ト云フモノハ農林省ガ多イモノヲ取ッテ居ルカト云フト、是ハ多イノデハナイ、大體帝國農會ノ調べニ較ベレバ、六升二合バカシ農林省ノ方ハ少イモノヲ取ッテ居ルノデアリマス、ソレデドチラガ正シイトカ、正シクナイトカ云フコトヲ申上ゲル氣ハ私ハアリマセヌケレドモ、生産費ノ調査ト云フコトヲ致シマスルト、何レモ中庸ノ農家ヲ選擇シナケレバイケマセヌシ、サウ云フ農家ニ就テ調べマスと云フト、略ボ似タモノガ出テ來ルノデ、何方ノ調査方法デモ餘リ間違ッタコトデハナカラウト思ヒマス、尙ホ帝國農會ノ調査ニ運賃諸掛ガ入ッテ居ルカト云フト、是ハ入ッテ居リマセヌ、生産費ノ調査ト致シマシテ、之ヲ入レル方法ハ私共トシテハ無理デアラウト考ヘマス、ソレハ何デ考慮スルカト云フト、結局經濟事情ト云フヤウナコトデ考慮致シマシテ、抽象的ナ金額ヲ加除スルト云フ風ナ外ハ仕方ノナイコト、思フノデアリマス、尙ホ是等ニ付キマシテハ、色々御意見ヲ十分伺ヒマシテ、是等ノ御意見モ參酌致シテ適當ニ研究シテ決メタイト云フ思フシテ居ル譯デアリマシテ、現狀ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲルト只今申上ゲタ

ヤウニナリマス

○福井委員 今ノ御説明ハ事務的トシテハ如何ニモ御尤デアリマスガ、肝腎ノ生産費ニ付テ、吾々議員ト政府委員トノ質疑應答ヲ、ズット前々議會カラノ速記、委員會ノ速記ヲ私モ詳細見マシタガ、現ニ只今御尋スルノモソレガ行詰ッテ居ル、結局實際ニ即シテ居ラヌ、即シテ居ラヌガ、此位重大問題ヲ御扱ニナッテ居ル部長トシテ、モウ少シ生産費ノ實際ニ即シタ所ノ調査ガナケレバナラヌト思フ、是ガ私ハ非常ニ缺ケテ居ハシナイカト思フ、ソレハ自分デ取ルノニハ矢張材料ガナイイトカ、或ハ千何軒カノ申出タ材料ニ依ッテ、サウシテ緻密ニ算盤ヲ探ッテ見ルト、斯ウ云フヤウニ出ルノダ、是ヨリ調べガナイ、斯ウ云フコトニ結論ガナル譯デアアル、ソレデハ迎モ實際ニ即シテ居ラヌ、ドウ考ヘテモ吾々ハ、農村ノ一町百姓ヲ致シテ居リマスル者ノ實際ヲ見マスルト、二十四五圓ハドウシテモ掛ル、ドウ云フモノデ掛ルカ、掛レバ掛ルヤウニ生産費ヲ決メタイノダガ、材料ガナイト仰シヤル、又議員諸君ニ於テモ、詰リ帝國農會ナリ、總テ調べテ居ルガ、大分違フデハナイカ、結局ハ考慮シテ實際ノ法ヲ執行スル上ニ於テハ、其邊ヲ考慮シヨウ、斯ウ云フコト

デ終ッテ居ルヤウニ今日マデノ生産費ノ議論ガナッテ居ル、ソレハ實際ニ即シテ居ラヌ、實際ニ即シテ居ラヌカラ、然ラバドウスレバ宜イカ、斯ウ申上ゲマスと云フト、吾々ガ澤山調べタモノガゴザイマスノデアリマスケレドモ、時間ガアリマセヌ、斯ウ云フコトハ申上ゲタイコトハアリマセヌガ、是ハ私ノ方デ一町百姓ヲ致シテ居ル、實際ニ五六人ノ家族デ一生懸命三百六十五日働イテヤッテ居ル、ソレガ今同我黨ノ鈴木總裁ヘ向ッテ書留デ書類ヲ送ッテ來タ、其大倉佐吉ト云フ人ノ作ッテ表ヲ見マスルト、一寸概略ガ能ク分ッテ、サウシテ帝國農會ノ調ト是モ合ヒ、又農林省ノ調ノ點ト何處ガ違フト云フ點モ明ニ此一ツノ書留郵便ダケデモ分ルヤウニ吾々ハ考ヘル、又吾々ガ國ヘ歸ッテ能ク數年間調査致シテ居ルモノトモ實際合フノデアリマスカラ、簡單ニ申上ゲマスケレドモ、第一農家ノ一町百姓ヲ致シテ居ル者ニ付テ申シマスと、昭和五年度ハ豐作ノ年デアッタノデアリマス、是ハ東北ナリ、中國ナリ、近畿ナリ、九州ナリデ違ヒマスガ、是ハ大體近畿カラ來テ居ル譯デアリマス、近畿ノ農家ト致シマシテハ、昭和五年度ニハ多少豐作デアリマシタカラ、一町デ三十石穫レタ、一段デ三十石穫レル、ソ

レデ平均一石十七圓デ賣リマシテ、五百十圓ガ上リ高デアッタノデアリマス、支出ハドウカト云フト、差引キシマス此豐作ノ年デスラ二百七十二圓ト云フモノハ農家ガ一町デ損シテ居ル、米ダケ作ッテ損シテ居ル、昭和六年度ハ多少凶作デアリマシテ、一段ノ平均ガ近畿デ二石四五斗出來テ居リマシテ、二十五石穫レテ、平均二十二圓デ賣リマシテモ、是亦五百五十圓デアッテ、支出ニ對シテ二百三十二圓損ヲ致シテ居ル、斯ウ云フ實狀デアルカラ、是ガ現在ノ農家ノ悲慘ナル狀況ニ陷ッテ居ル原因デアル、之ヲ改善スルニ付テハ、ドウシテモ政友會ノ提案ニナッテ居ル所ノ、米ヲ政府ノ專賣ニシテ一石二十五圓カラ三十圓以内ニシテ貰ハナケレバ、農家ノ收入ヲ償フコトノ根本ガ出來ナイ譯デアル、若シサウナレバ農家ガ米ヲ安心シテ作ッテ、サウシテ其農村ノ教育モ十分ニシテ、或ハ離村ノ情ナイヤウナコトガナクシテ、家庭ガ家族主義ヲ尊重スル農家トシテ行ケル譯デアルカラ、ドウシテモ專賣ニシテ貰フヨリ外ハナイト云フノガ本人ノ總裁ニ對シテノ申出デアル、ソコデ農具ノ資本ガドノ位掛カルカト言ヘバ、六百五十三圓八十錢農具ノ資本ガ掛カル、其内譯ハドウデアアルカト言ヘバ、金二百圓ガ

作業場一箇所、百五十圓ガ物入倉一箇所、八圓ガ穀磨臼一臺、二十八圓ガ唐箕一挺、八圓五十錢ガ千石磨師一挺、二十圓ガ細縫機一臺、二十五圓ガ稻掛竿三駄半、十五圓ガ稻掛足木五百本、三十圓ガ穀干筵一百枚、四圓五十錢ガ鐵鋏二挺、三圓ガ鋤一挺、七十錢ガ備中鋏二挺、五十錢ガ鎌二挺、三圓五十錢ガ四ツ紐フゴ五荷、五圓五十錢ガ除草器二挺、三圓ガ枡一ツ、一圓五十錢ガ箕三挺、六十錢ガ杉オ、コ三本、二十圓ガ縫織機一臺、十圓ガ作業場敷地及穀干場料、八十圓ガ牛一頭買フニシテモ一軒デハ買ヘマセヌカラ、一軒デ百六十圓ノ牛一頭ヲ相持、十五圓ガ馬鋏犁各一挺、十五圓ガ荷車一臺、三圓五十錢ガ肥桶一荷、三圓ガ稻透師一挺、斯ウ云フヤウニ一町百姓ニシテ農具ガ六百五十三圓八十錢要ル、是ハ餘程儉約シタ金デアル、又勞働人夫賃ハ、一段ニ付テ十八人手間、一町デハ百八十人ハドウシテモ要ル、此内百人ハ勞働ガ激シイカラ一日二圓トシテ二百圓、残り八十人ハ勞働ガ容易ダカラ一日一圓トシテ八十圓、合計二百八十圓ハドウシテモ掛ル、ソレハドウシテカト言ヘバ、苗代ノ行事ニ四日間ハドウシテモ掛ル、荒田ノ起シガ一町デ三日半、土塊碎キガ一町デ十日間、二度目ノ畝

反シガ一町デ三日半、小土追ヒ馬鋏ニテ地竝ラシ及畦塗リガ四日、苗取及田植一町デ十日、草除始メヨリ終リマデ一段デ四日、一町デ四十日掛ル、田植ヨリ三箇月間ノ水ノ配慮デ約五日、田ノ稗刈一町二回トシテ二日掛ル、田ノ稻刈及稻ノ竿掛一日ニ付七畝、一町デ約十五日掛ル、稻扱キ及藁始末一町デ十二日掛ル、穀干一段穀半日、一町穀十五日、依編ミ外依七十五日間、同内依七サリ取七十五日、二日、細縫、太細縫五日、同細縫三日、穀磨リ米三十石十五日、田畦草刈春夏秋三回一町デ十二日、下肥施肥一ケ年デ十三日、斯ウ云フコトデ百八十人掛ル、斯ウ云フコトノ算盤ヲ致シマシテモ、此米ナント云フモノハ二十四五圓ハドウシテモ失費ガ掛ル、是デ運賃モ入ッテ居リマセヌ、ソレカラ農具ナント云フモノハ利子ヲ五分ト見テ居リマスケレドモ、是ハ四分ノ利息ト見マシテモ農具ニ對シテ二十四圓掛カル、ソレカラ農具一切ノ年々破損シテ現金支出ヲスルノガ三十圓掛カル、ソレカラ租稅ガ一反ニ付テ十八九圓掛カリマスカラ、一町デ百八九十圓掛カル、田地ハ東北ナリ、關東ト違ヒマシテ一町先ヅ五百七十圓カラ六百圓デアリマス、六百圓トシマス

ト四分ノ利息ヲ以テシマシテモ二十圓餘掛カル、斯ウ云フ譯デ五年ナリ、六年ナリ農業ヲヤッテ居ッテ、旨ク行ッテモ二百四五十圓宛貧乏シナケレバナラスト云フ實情デアル、ソレカラ部長ノ管掌内デ此統制法ノ價格ヲ公定スルト云フニ付テハ、ドウシテモ生産費ヲ十分ニ御取調ベニナラナケレバナラス、考慮スルト言ハレルガ、アナタ方ガ考慮シテ大臣ニ御示シニナルト、ソレガ基本ニナルノデアリマスカラ、此統制案ヲ活用スルトシナイトハ、今日御列席ニナッテ居ル政府委員ノ御精神ト、御信念ニ依ッテ此統制案ノ運用ガ完全ニ出來ルト思フ、今日迄ノ御答ノヤウニ、帝國農會ガドウデアルトカ、或ハ生産費ヲ調べル所ノ材料ガナイトカ云フヤウナ机上ノ御議論デ以テ生産費ヲ御決メニナルト云フコトデハ、是ハ何年掛リマシテモ百姓ノ眞ノ生産費ヲ見出スト云フコトハ出來ナイト思フ、之ヲ私ハ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、本案ノ運用ヲ爲サル最低價格ヲ御決メニナルニ付テハ、徹頭徹尾農村ノ實際ニ即シテ居ル二十四五圓ヲ生産費ノ基礎ト爲スト云フ御決心ヲ以テ、此法ノ運用ノ完全ヲ期シテ貰フト云フノガ、吾々ノ豫ネ／＼陳情モシ、今日信ズル所ノ要點デアル、之ニ對シテモウ一

應承リタイ、能ク御答ノ御趣旨ハ分ッテ居リマスケレドモ、生産費ハドウシテモ三圓ハ殖サナケレバヤレヌモノデアルト云フ位ノ差支ナイ程度デ堅イ御決心ノ在ル所ヲ打明ケテ戴イタラ結構デアルト思フ、打明ケテ貰ハナケレバ何年掛ッテモ此生産費ノ問題ハ解決シマセヌ

○荷見政府委員 色々詳細ニ御話ハ伺ッタノデアリマスガ、私共モ、私ハ机上デ仕事ヲ致シテ居リマスガ、各地方ニ於ケル農會、町村等ノ指導員デ吾々ノ仕事ヲ助ケテ居ル人ハ皆是レ實地ニ當ッテ居ルノデアリマス、ソレデ只今御示シノ農具ノ費用デアリマシテモ、農産ノ費用デアリマシテモ、其他ノ費用デアリマシテモ、皆ソレ等ノ實際ノ指導ヲ致シテ居リマスヤウナ階級ノ者ガ十分取調ベマシテ出シテ居ルモノデアリマスカラ、相當ノモノト考ヘルノデアリマス、唯先日來御疑念ニナッテ居リマス點ハ、是ハ從來モ懸案ノ問題デアリマシタシ、御議論ノアツタ問題デアリマスカラ、十分此統制法ノ施行ノ際ニハ更ニ熟議ヲ致シテ見タイ、斯ウ云フ事ヲ申上ゲタ次第デアリマス、唯一石ヲ幾ラノ代價ニスルト云フコトヲ頭カラ決メテ、ソレニ當ルヤウニ此費目ノ計算ヲ出スノハ餘程ムヅカシイ事カト思ヒマス

○福井委員 諄イヤウデアリマスケレドモ、只今ノ御意見ガアリマシタカラ、尙ホ一言申上ゲテ置カナケレバナラスノデアリマスガ、生産費ノ調査ハ、本省ニ於テハ机上デ事務ヲ御執リニナルケレドモ、其部下ニ居ラル、各町村ニ居ル總テノ者ガ實際ハヤッテ居ル、斯ウ云フ御言葉デアリマスカラ一言セザルヲ得ナイノデアルガ、今日ノ農村ヲ實際色々指導致シ、又調査ヲ詳シク致シテ居ルノハ、色々非難モアリマセウケレドモ、大體ヲ言ヘバ系統農會ガ農村ノ中心ニナッテ居リマス、其系統農會ノ縣農會カラ郡農會、郡農會カラ町村農會、總テノ系統農會ニ依ッテ調ベタ所ノモノヲ帝國農會ガ發表シテ居ルコトハアナタモ御承知デアリマスルケレドモ、是ハ委員會デモ發表シテ置クコトモ、本法ノ運用ヲ爲サル上ニ於テ必要デアルト思ヒマスカラ、參考迄ニ重ネテ申上ゲテ置キマス、關東ノ生産費ハ平均二十三圓四十二錢ニナッテ居ル、東北ノ平均ガ十九圓七十二錢、北陸ノ方ハ二十三圓七十五錢、東海道ノ方ハ二十四圓二十二錢、近畿デハ地價モ高イシ、總テノ關係モアリマセウガ、二十六圓二十六錢ニナッテ居ル、中國デハ二十三圓十一錢、四國デハ二十五圓五十七錢、九州デハ二十二圓四十八錢ニ

相成ッテ居リマス、北海道ハ格別デアリマス、斯ウ云フヤウニナッテ居リマス、先程ノ御話モアリマシタ如ク、農村問題ニ對シ、常ニ非常ニ眞面目ニ農村ノ爲ニ活動シテ居ル帝國農會ガ生産費ヲ調査ヲ致シテ居ルト云フコトカラ考ヘマスカル、此系統農會ノ調ベタ所ヲヤハリ基準ニシテ貰ハナケレバナラスト吾々ハ思フ、又是ハ信ジテ可ナリト思フノデアリマス、之ヲ先程申上ゲマシタ一町百姓ガ總裁宛ノ書留ヲ送ッテ來タ所ヲ調ベテ見マスカル、ドウシテモ之ニ合ウテ居ル、サウ云フヤウニ近畿デハドウシテモ二十四・五圓掛ルト云フコトハ事實ラシイ、之ヲドウカ本法ノ運用ヲ爲サル上ニ付テ系統農會ガ眞面目ニ調ベテ居リ、又私ノ一例ヲ申上ゲマシタ一町百姓ノ實情ヲ十分御考察ヲ願ヒマシテ、篤ト御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、又生産費ニ付キマシテハ或ル機會ニ申上ゲルコト、致シマシテ、此問題ニ付テハ打切りマス

次ニ臺灣、朝鮮米ノ産米ノ生産費ト云フモノハ既ニ參考書モ來テ居リマセウガ、私ハマダ見マセヌガ、大體今日ハドノ位掛ッテ居リマスカ、朝鮮米臺灣米ノ生産費ヲ御聽キ致シタイ

○荷見政府委員 朝鮮、臺灣ニ於ケル生産費ノ調査ト云フモノハ只今公ニナッテ居ルナイノデアリマス、ソレデ此點ニ付キマシテハ朝鮮總督府等ニモ色々御尋ヲ致シ、ソレカラ公ノ機會ニ於テモヤハリ御要求モ各方面カラアルノデアリマスガ、マダ其自信ヲ以テ發表スル程ノ調査ガ出來テ居ラヌト云フ理由ヲ以テ發表ニナッテ居リマセヌ、臺灣ノ方モサウ云フ風ナ事情デアリマスカラ、只今申上ゲルコトハ困難デアリマス

○福井委員 ソレハ何時頃分ルノデスカ、朝鮮、臺灣ノ政府委員ニ承レバ分ル譯デスカ

○荷見政府委員 ソレデハ拓務省ノ方ノ政府委員ニデモ此ノ機會ニ御出席ヲ願ッテ御話願フコトニ致シタイト思ヒマス

○福井委員 是ハ大臣ニ御尋スルノガ本當カト思ヒマスケレドモ、ヤハリ本案ノ完全ヲ期スト云フコトニ付テハ、政府委員モ重大ナル位置ニ御立チニナッテ居ル譯デアリマスルカラ御尋致シマス、本案ノ統制ヲ圖ルニ付テハ、本會議ニ於テモ同志ノ河野君ヨリ御尋ガアリマシタ如ク、生産統制ト云フモノヲ考ヘナケレバナラス、ソレカラ小作立法ト云フ此小作ノ關係モ默認スルト云フ譯ニハ行キマセヌ、ドウシテモ本案ノ統

制ヲ圖ルニ付テハ、同時ニ小作立法案ヲ出スコトガ最も必要ダト私ハ考ヘテ居ル、是等ニ付テノ御考ガアリシヤ否ヤ、又政府委員トシテノ御考ヲ聽キタイ、尙ホ又自治統制デアリマス、自治統制ト云フコトニ付テハ先程一寸御話ガアリマシタガ、モウ少しバッキリシタ御答ヲ御差支ナケレバ伺ッテ置キタイと思ヒマス

ソレカラ統制ヲシ、米價ノ維持ヲスルト云フ上ニ於キマシテモ、現在色々ノ弊害モアリ、特長モアリ、色々ノ事モ世ノ中ニ議論サレテ居リマセウケレドモ、取引所トノ關係、取引所ノ機能ヲ活用シ、應用シテ、米價ノ維持或ハ總テノ點ニ於テ——消費者ノ點ニ於キマシテモ、生産者ノ點ニ於キマシテモ、取引所トノ連絡トマデハ行キマセヌケレドモ、之ヲ活用シテ、此統制案ノ完全ヲ期スルコトモ必要デアルト私ハ思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ政府委員ノ御考ヲ承ッテ置キタイと思ヒマス、大體ハ大臣ニ承リマスレバ宜カラウト思フノデスケレドモ、政府委員ノ御考モ一ツ承ッテ置キタイと思ヒマス

○荷見政府委員 只今御話ノ生産統制ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ昨日モ大臣カラ御話申上ゲタト思ヒマスガ、ヤハリ此法案ヲ

生出シマシタ米穀統制調査會ノ答申ノ一部ニ於キマシテ、内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ米穀ノ生産統制ヲ計畫實行スルコト、シ、關係當局者、其ノ他ノ者ヨリ成ル委員會ニ諮問シテ決定スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、此趣旨ニ依リマシテ何レノ委員會デモ出來マシテ、適當ニ研究、計畫サルコトニナルモノト考ヘマス、自治統制ノ問題ニ付テハ先程申上ゲマシタ通り、産業組合、農業倉庫等ヲシテ一層其機能ヲ發揮セシメ、サウシテ自治的統制ノ目的ヲ達セシムル、サウ致シテ參ルコトニナルと思ヒマス、取引所ヲ活用スルト云フコトデアリマスガ、私共モ米穀ノ調節ヲ致シマスノニハ、不斷ニ取引所ニ於ケル取引ノ狀況デアリマス、ソレカラ取引サレル米穀ノ種類トカ色々ナモノニ付テ十分注意致シテ、調節ノ目的ヲ達スル爲ニハ利用致シテ居リマスノデ、決シテ取引所ヲ等閑ニ付シ、取引所ノ活動ヲ注意シナイデ居ルト云フヤウナ事ハ致サナイノデアリマス

○福井委員 私ハ最後ニ一言御尋シテ、餘ハ大臣ガ御出デニナッテカラ御尋スルコトヲ保留シテ置キマス、大體政府委員ニ於テ此統制案デ以テ、今日多數ノ農民ガ要望シテ居ルヤウニ、米價ノ對策ガ完全ニ出來ル

ト云フ御信念デアリマスカ、先ヅ此法ヲオ遣リニナリマシテモ、吾々ガ十年間苦シンデ參リマシタ米穀法案ノ如キ苦イ經驗ヲ再ビセズニ、此統制案ニ依ッテ完全ニトマデハ行キマセヌケレドモ、米穀法案ヨリモヨリ以上ニ米穀ノ對策ガ行ッテ行ケルトノ御信念ガアルカドウカ、唯ヤッテ見テイケナケレバ、又專賣法ニスルトカ或ハ法ヲ取替ヘルト云フヤウナ御考デハアルマイケレドモ、此信念ト云フカ、或ハ觀念ト申シマセウカ、同キ御決心ノ程ヲ承ッテ置キマスレバ、今日三千萬ノ農民モ、多數ノ消費者モ大ニ安心スル、政府ガ斯様ナ決心ヲ以テ此法案ヲ運用シテ行クト云フ御決心ガアルノダカラ、先ヅ安心シテ可ナリダト云フコトニナル、此詰リ指導方針トデモ言ヒマセウカ、農民ヲ安定セシムルト言ヒマスガ、甚ダ是ハムジカシイ事デアリマスガ、其點ノ決心ヲ伺ヒタイ、此目的ヲ達スル爲ニハ數年間、各地方ノ疲弊困憊シテ居ル農民ハ度々上京シテ、無駄ナ費用ヲ使ッテ騒イデ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、此農民ヲ成ベク騒ガセナイヤウニ、心配サセヌヤウニ本統制案ニ依ッテ大體統制ガ出來ルモノデアル、斯ウ云フ御方針デアアルカ否ヤ一ツ承ッテ、私ノ質問ヲ終リマス

○荷見政府委員 只今ノ御尋デゴザイマスガ、私共ハ此統制法案ヲ立案致シマスニ付テハ、各方面ノ權威者ノ十分ナル御研究モ願ヒマシテ、現在ノ經濟組織ノ下ニ於キマシテ、現在ノ社會事情ニ適應致シマシテハ、先ヅ此制度ヲ以テ米穀ノ數量價格ノ調節ヲ期スレバ適當ナモノデアラウト云フ見込ノ下ニ立案致シタノデアリマス、勿論私共其立案ノ局ニ當リマシタ者ト致シマシテモ、從來ノ米穀法ハ唯暴騰暴落ヲ防止スルト云フノガ其建前ニナッテ居ルノデアリマシテ、而モ其調節方法ト致シマシテハ、最低價格ヲ下ツタ場合ニ其下ツタ時價ヲ買入レル、最高價格ヲ破ル場合ニハ其破ル時價ヲ買却ラスル、サウシテ需給ノ數量ヲ調節スルト云フ建前ニナッテ居ッタノデアリマスカラ、是ハ暴騰暴落ガ阻止サレルト云フコトニナルノデアリマスガ、今度ノ統制法ニ於キマシテハ、一定ノ最低價格、最高價格ト云フモノヲ確定致シマス、公定致シマシテ、其最低價格ニナル場合ニハ、此最低價格ニ依ル申込ニ付テハ、時價ト云フコトデナシニ、其決メラレタ價格デ以テ買入ヲ行ヒ、最高價格ヲ割ル場合ニハ、最高價格デ以テ買却ヲ行フ、サウシテ其價格ヲ維持シヨウト云フノデアリマスカラ、隨分徹底シ

タ方策デアルト思フノデアリマス、尙ホ其外ニ此最低價格最高價格ニ依ル價格ノ調節ノ外ニ、季節的ノ出廻數量ヲ調節致シマシテ、其出廻數量ヲ平準ニ致シ、其結果價格モ餘リ變動致サヌヤウニト云フ趣旨ノ季節的調節ノ問題モ加ハッテ居ルノデアリマス、其他ニ尙ホ朝鮮、臺灣、内地ヲ通ズル生産統制問題モ是ト附隨シテ研究シテ行クコトニ致シ、自治的統制ト云フコトモ産業組合、農業倉庫等ノ生産者團體ヲ働カセル、ソレカラ出廻期ニ於ケル朝鮮米ノ内地ヘノ殺到問題ニ付テハ、本制度ニ依リ季節調節ヲ行フノ外ニ、中央ト總督府ト協議シテ十分ニ其目的ヲ達スルヤウニ致スト云フノデアリマスカラ、私共トシテハ此法案ガ實行サレマスレバ相當價格ナリ、數量ナリノ調節ノ目的ヲ達シ得ルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

仰シヤッテ戴キタイ、農民ハ非常ニ之ヲ重大ナ問題ニ考ヘテ居ル

○荷見政府委員 此家計費ノ調査ヲ致シマシテ、其家計費ノ調査カラ家計費ノ堪ヘ得ル米穀ノ價格ト云フモノヲ算出シヨウト云フコトハ、是ハマダ實行致シタコトモゴザイマセヌ、新シイ問題デゴザイマスカラ、只今ノヤウナ御質疑ノ出マスコトハドウモ當然ト思フノデアリマス、ソレデ簡單ニ申上ゲタイノデアリマスガ、ドウモ込入ッテ居リマスノデ、幾ラカ時間ヲ要スルト思ヒマスガ、ソレハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

帶ノ者ガ其他ニ費シマスル——只今御手許ニ差上ゲテアルノヲ御覽ニナレバ宜シイノデアリマスガ、白米代ト云フ後ニ副食物費、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、遊山の旅行費、貯金ノ關係ト云フ項目ガアルノデアリマスガ、是等ノ食料ヲ得ルガ爲ニハ一部分節約シテモ宜カラウト認メラレマスルモノ、支出金額ノ家計ノ一定ノ割合ノ金額ヲ掛ケマシテ、之ヲ白米代ニ加ヘマス、サウシテ其白米代ニ加ヘタモノヲ、白米ノ實際消費サレマシタ數量デ割リマス、白米ガ何程ニ騰貴致シマシタ場合ニハ、モウ家計調査ヲシタ世帯ノ者ハ困難ヲスルカト云フコトガ出デ参リマス、此白米代ヲ當時消費シマシタ期間ノ白米ノ元デアッタト認メラ

ヘバ白米ガ高クナッタカラ、一方ノ遊山費ナンカラ減ラスト云フコトニ依ッテ融通シ得ル、ソレガ家計費ノ幾ラデアアルカト云フコトハドウ云フ所カラ來ルカ、ドレ位使フカト云フコトハヤハリ數學的ノコトデスカ

○宮崎委員 一寸今ノ御質問ニ關聯シテ伺ヒタイ、此米穀統制法ヲ研究スルト私ハ非常ニ分ラヌ所ガアルノデスガ、家計費ノ限度ニ付テ所謂最低價格、最高價格ノ決定ノ爲メノ家計費デスガ、國民全體——農民カラ言ヘバ此點ヲ非常ニ心配シテ居ルト思ヒマス、所ガ此規定カラ行キマスレバ甚ダドウモ分リ兼ネマスガ、成ベク之ヲ分リ易ク

ト認メラレマスル收入ヲ持ッテ居ル階級ノ家計ヲ調べマシテ、其階級ノ者ガ白米ニ支出致シテ居リマスル金額ト、ソレカラ其消費致シマスル白米ノ分量ト云フモノヲ一ツ調べマシタ、ソレカラソレダケナラバ其家計費ヲ調査致シマシタ期間中ニ於ケル白米ノ價格ト云フコトニナルノデアリマスカラ、ソレデハ最高價格ヲ算出スル基礎ニハナリマセヌノデ、其家計調査ヲ致シマスル世

白米ヲ玄米ニ今度ハ換算致シマス、ソレデ幾ラト云フモノヲ出シテ、其程度ナラバ此調べマシタ種類ノ世帯ノ人ハ堪ヘ得ルダラウト云フ金額ヲ出シテ、最高價格ノ一ツノ標準ニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス、極ク簡單ニ抽象的ニ申シマス、此程度ニナリマス

○荷見政府委員 是ハ大體立案致シマスル時ニハ、其調査致シマシタ當時ノ米價ノ最高額ヨリ幾分上値ノモノハ、ドレダケノ歩合ヲ、只今申上ゲマシタ嗜好品以下カラ持ッテ來テ、白米代ニ加ヘレバ實際ニ合フカト云フ、實際カラ考ヘ出シタノデアリマシテソレハ大正十五年カラ昭和二年ニ掛ケマシテ内閣統計局デ家計費調査ヲ致シタモノガアリマス、其調査ニ依リマシテ當時ノ米價ト配合セマシテ、今ノヤウナ組織デ算出致シマス、大體一割カラ一割五分ノ間ノ節約ヲ嗜好品費以下ニ出スモノト致シマシテ、サウシテ加ヘレバ丁度常識的ノ最高價格ニ合フト云フヤウナ意味合デ立案ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ其後ノ調査ガ果シテソレニ合フデアラウカドウカト云フコトハ、一回ノ調査デアリマスカラ甚ダ不安デアリマスノデ、御手許ニ差上ゲマシタヤウナモノヲ一昨年カラ昨年ニ掛ケマシテ調査致シタノデアリマス、併シ是モ亦一回ノ調査デ

アリマスノデ、本年ハ最高價格ヲ決メマス
ル時ノ參考資料ニ爲スト云フコトガ出來ナ
イデ居ッタノデアリマス、幾ラカ此調査ヲ續
ケル内ニ生計費指數ト云フヤウナモノデモ
出シマスレバ、餘程實際ニ近イモノニナ
テ來ルドラウト考ヘテ居リマス

○宮崎委員 是レ以上ハ書面ヲ戴クコトニ
致シマス

○土井委員 關聯シテ一寸——サウシマス
ト、斯ウ云フモノヲ拵ヘテ戴キマスレバ非
常ニ都合ガ好カラウト思フ、昭和八年度ノ
最低價格ハ二十圓八十六錢ト今日現在ノ法
律デナッテ居ル、ソレカラ所謂最高率勢米價
カラ上値ガ二十九圓五十七錢、是ハ現在出
來テ居リマス、所ガソレデナクシテ、最低ノ
方ハ二十圓八十六錢、是ハ生産費ヲヤッテ
居ル譯デスカラ宜シイガ、最高ノ方ハ率勢
米價ニ依ラズシテ、家計費デヤッタラドウナ
ルモノカ、ソレモ一ツ拵ヘテ戴キタイ、假
リニ上値ガ二十九圓五十七錢トスルト、ド
ウ云フ數字デ斯ウ云フコトニナルカト云フ
コトヲ御示シ願ヘレバ早分リガラウト思
フ、實ハ甚ダ頭ガ惡イカ知レマセヌガ、只
今ノ御説明デハ一寸分ラヌノデスカラ……

○荷見政府委員 承知シマシタ

○東委員長 河野君

○河野委員 先ヅ第一ニ御伺致シタイノ

ハ、本法施行ノ結果最高最低價格ヲ決定シ
テ政府ガ發表ニナル、其數字ニ依テ法ヲ
運用セラレル時ハ、昨日カ一昨日ノ大臣ノ
御答辯ニ依リマス、生産費調査完了後、
即チ十二月十日前後ト云フコトニナルノデ
ヤナイカト思フ、ソレニ付テ大臣カラ簡單
デ宜シイカラ、御説明ヲ願ヒタイ

○後藤國務大臣 新法案ノ施行ハ新米穀年
度、即チ十一月カラ施行スル見込デアリマ
ス、所ガ此法ニ基イテ最高最低ノ價格ヲ定
メル例年ノ月ハ丁度十二月ノ初メニ生産費
等ノ調べガ出來上ガッタ時ニ公定價格ヲ定
メル、斯ウ云フ積リデアリマス、サウスル
ト初メニ施行スル時ニハ、十二月ニハ最高
最低價格ヲ定メルモノガ出來テ居ルノデヤ
ナイカト云フ御議論ガアルカモ知レマセ
ヌガ、ソレハ便宜今年度内ハ二度定メナケ
レバナラス、大體サウ云フ見込デアリマス
○河野委員 ソコデ私が御伺シタイノハ、
大體其年ノ米穀生産費ノ決定スルノハ、十
二月ノ十日前後ト云フコトニナリマスルト、
其十二月十日以前ニ賣出シマスル所ノ中小
農ノ所有米、早出廻地方ノ米價ニ對シマシ
テハ前年度ノ生産費デ最低價格ヲ決定スル
コトニナリマスガ、其間ニ於ケル事情ノ變

化等ニ對應スルニハト云フコトニ致シマス
カ

○後藤國務大臣 御尤ナ御質問ト思ヒマ
ス、只今ノ當局ノ見込デハ、詰リ前年ニ定メ
タ公定價格ヲ以テ、新シキ公定價格ガ出來
ル迄ハ押シテ行ク、隨テ前年度ノ最高最低
デ先ヅ十一月ハ押ヘテ行ク、ソレデ大シタ
不都合ハナイノガラウ、ソレダケノ僅カノ
期間ノ救済ヲスル爲ニ、特別ナソコニ公定
價格ト云フモノヲ新タニ作ルト云フコト
ハ、妙ナ値ヲ米價ノ真中ニ挟ムヤウナコト
ニナルノデハナイカ、其位ナ、最高最低ト
云フモノ、働キハ、ソレヨリ上ニ出サズ、
下ニ下ゲナイト云フ粹デアリマスカラ、ソ
レデ十分目的ヲ達スルノダト考ヘテ居リマ
ス

○河野委員 ソコハ大臣ト大分私ハ所見ヲ
異ニスルノデアリマス、詰リ最低價格ヲ決
メルノダカラ、其間ニ値轄ガアルカラ、其
間ニ米價ガ織込マレテ居ルカラ宜イト云フ
コトデアリマスルト、例ヘバ茲ニ所謂此法
律ニ於テモ、最モ重大視シテ居リマスル所
ノ大豐作ノ時デアリマス、大豐作ノ時ニ、
今年ハ六百萬石モ買ハナケレバナラヌト云
フヤウナ年ニ於テ、其問題ガ起ルノデアリ
マス、而モ大臣ノ御話ニ依リマスルト、十

一月一箇月位ノコトガラト云フ御話デア
リマスガ、是ハ統計ニ依ッテ調査御研究ヲ
願ヒタイノデアリマス、九月カラ賣始メマ
シテ、九月、十月、十一月、十二月初メ

ニ賣出シマスル所ノ米ノ數量竝ニ中小農家
カラ賣出ス此率ト云フモノニ付テ御研究ニ
ナルト、輕々ニ之ヲ默視スルコトハ出來ナ
イト思フノデアリマス、此期間ノ調節コソ
本當ニ困ッテ居ル農民ニ對シテ調節ヲシナ
ケレバナラスノデアル、而モ其時期ニ於テ、
豐作ヲ氣構ヘテ居ル時ニ於テ、最低價格ニ
近イ所ニ米價ノ來ルコトハ當然デアリマ
ス、最低價格ニ近廻ル所ニ米價ガ來テ、而
モ新米穀年度ニナレバ、其年度ノ最低價格
デ賣應ズルコトガ出來ル、幾ラデモ政府ガ
買ッテ呉レル、然ルニ賣ラナケレバナラス
貧農階級ノ米ハ、前年度ノ米ノ生産費デ賣
ラナケレバナラヌト云フ結論ニナッテ、此間
ノ矛盾ガ相當大キナモノガアルト思フノデ
アリマス、モウ一度一ツ……

○後藤國務大臣 今ノソレニ付テノ御話
ハ、御推測ト私ハ反對ニ考ヘルノデアリマ
スガ、詰リ今ノ最高最低價格ガ前年度ノ生
産價格ヲ基準ニシテ作ッテ居リマスカラ、ソ
レニ較ベレバ無論新米モ買上ガラレル、大
豐作ト云フヤウナ時ヲ考ヘマスルト、寧ロ

米穀ノ生産費ガ下ルノデハナイカ、サウス
ルト前年度ノ下値デ抑ヘテアル方ガ、サウ
云フ場合ニハ早ク賣出スノハ、寧ロ工合ノ
好イ關係ニナッテ居ルノデ、ナイカト思ヒマ
ス、ソレカラ尙ホ反對ニ今度ハ大凶作ト云
フヤウナ場合ニハ、非常ニ米ガ上ル、新米
ヲ高ク買ハナケレバナラヌト云フ年デアル
トスレバ、前年度ニ決メタ生産費ヲ標準ニ
シテ定メタ最低價格ハ、米ノ値ガ其時ハ近
寄ラナイデ、寧ロ最低價格ト云フモノハ餘
リ問題ニシナクテ宜イヤウナ狀況ニナル、
サウシテ今度新最低最高價格ガ決マル時ハ、
相當高イコトニ決マル豫想ガ付ク時ハ大シ
タ心配ハナイノデハナカラウカト考ヘマス

○河野委員 只今ノ大臣ノ御答辯ハ非常ニ
常識的ノ御答辯デアリマスガ、一昨年ノ米
ノ生産費ト、昨年ノ米ノ生産費ト、農林省ノ
調査ニ依ッテ調べテ見マスルト、僅ニ米ノ
收穫量ニ於テ相當ニ開キガアッテ、而モ其實
情カラ見マスルト、米ノ生産費ハ幾ラモ違ッ
テ居ラス、僅ニ四十錢カ幾ラカノ違ニシカ
ナッテ居ラス、而モ生産費ノ方ハ大豐作、凶作
ト申シマシテモ、極端ナ場合ハサウナリマ
スガ、其間米ノ收穫量ガ——生産費ノ上ニ
米ノ收穫量ガ及ボシテ來ルコトハ割合ニ少
ナイノデハナイカト思ヒマス、而モ其他ノ

經濟事情ニ依ッテ物價ガ上ツタトカ、下ツタト
カ言フ時ニ、米ノ生産費ニ非常ナ影響ヲ及
ボスノデアリマスガ、寧ロ此經濟事情ノ變
化ニ依ル生産費ノ高低ノ方ガ大キイ、數量
ハ大豐作、大凶作ト申シマシテモ、三割モ五
割モ餘計穫レル譯デナイ、平年度ニ較ベテ
一割穫レ、バ大豐作、一割穫レナカタラ大
凶作ニナルト云フノガ米ノ收穫量ノ實際デ
アリマシテ物價ノ點カラ行キマス、一割、
二割上ガ下ガルト云フコトハ寧ロ常ノコ
トデアリマス、現ニ「インフレーション」ノ
結果ハ先ヅ五割卸賣ガ下ツタトカ上ツタトカ
言ウテ居ル、而モ肥料ノ如キニ付キマシテ
モ、ソコニ倍モ上ガルト云フヤウナ結果ニ
ナッテ居ルノデアリマス、寧ロ今ノ大臣ノ
御答辯ハ非常ニ常識的ノ御答辯デアリマス
ケレドモ、必シモサウ云フ數字ハ、ソレヨ
リモ寧ロ他ノ原因ニ依ルモノ、方ガ多イノ
デハナイカト思フ、而モ一般ニ世間デ割合
ニ閑却シテ居リマス十月、十一月、十二月
ノ初メニ賣出シマス小作人ノ賣出來ト云フ
モノハ、非常ニ大キナモノデアアル、此點ニ
付テ特別ノ御考慮ヲ願ハナケレバナラスノ
デハナイカト思ヒマス、是ハ今大臣ノ御考
ト違ヒマスケレドモ、私ノ申上ゲタコトヲ
御斟酌下サレバ結構デアリマス

次ニ申上ゲテ見タイノハ特別會計ノ問題
デアリマス、先日モ此問題ハ一寸申上ゲタ
ノデアリマスルガ、其時ニ參考材料ヲ要求
シテアリマシタカラ、ソレ以上申上ゲマセ
ヌデシタガ、昨日戴キマシタ米穀統制制度
ニ伴フ現行米穀需給特別會計資金擴張ノ限
度ノ概算ト云フ、此文書ニ依リマス、今同
増加セラレマシタ二億二千萬圓ハ、二箇
年大豐作ガ續ク場合ヲ豫想シテ作ラレタモ
ノデアアル、二箇年大豐作ノ續イタ場合ニ
ハ、絕對ニ是ダケノ金額ガ入用デアルト云
フコトニナル、サウ致シマス、詰リ此二箇
年大豐作ガ續キ、是カラ三箇年先ニ起リタ場
合ニハ、三箇年間ニ於ケル經費ガ此中カラ
使ハレルノデアリマスカラ、之ニ對スル金
ガ無クナルト云フ結論ニナルト私ハ思フ、
毎年々々——少クトモ八年度ノ特別會計ノ
豫算ヲ見マシテモ、是ダケノモノハ絕對ニ
掛カルト云フ數字ガ茲ニ出テ居ル、之ニ對
スル埋合セノ歳入ハ一ツモナイノデアリマ
ス、特別會計ニ於テハ歳入ノ伴ハヌ特別會
計デ、歳入ハアルカモ知レヌガ、豫測ハ出來
ヌ、外ノ値上リニ依ル收入ガアルダケデ、
其他ハ是モ殆ド豫測出來ヌ問題デアリマス
ケレドモ、歳入ハ借金デ之ヲ見ルト云フコ
トニナリマスルト、年々何ガシカノ金ヲ此

二億二千萬圓ノ増加シタ中カラ喰込シテ行
クト云フコトニナリマス、八年度一年間
ニ使ツタ金ダケヲ取ッテシマヒマス、九年
度、十年度ト豐作ノ出タ場合ニハ、既ニ其
時ニハ資金ノ缺乏ニ困ルト云フヤウナ結果
ニナルト思フノデアリマスガ、如何デス

○後藤國務大臣 極端ニ御想像ニナルト云
フトサウ云フ結果ニナルト思ヒマス、併シ
此推算ハ非常ニ大丈夫ナ所ヲ見込シテノ推
算デ、特別會計ノ計算ハ矢張サウ云フ所
デ計算スル外アリマセヌカラ、實際ノ場合
ニハソレト違ッタ數字ガ現ハレテ來ル譯デ
アリマス、殊ニ季節的調節等ヲヤリマスル
ト、是ハ損ニナル場合、益ニナル場合、惡
ク見テモ相半バスルト見タ方ガ穩當デアラ
ウト思ヒマス、大體特別會計ノ豫算ノ立方
等ハ御承知グラウト思ヒマスガ、サウ云フ
工合ニナッテ居リマシテ、非常ニ大キナモ
ノヲ見込シテ、實際ニ其限度ニ運用スルト
云フノデアッテ、實行ハ常ニ違ウト云フ風ニ
考ヘテ居ラナケレバナラス、ソレダケノ權
能ハ與ヘテ居ル、斯ウ云フ建前ニナッテ居
リマス、色々ト御想像ニナリマシテ、極端
ナ場合ヲ御考ニナリマス、懸念ガアルト
云フヤウニモ御考ニナルノデアリマスガ、
又一面ニハ豫テモ申上ゲタヤウニ特別會計

ノ損失整理ト云フ問題モ時機ヲ見テ實行致
サナケレバナラス、致スベキデアルト思フテ
居リマス、旁、將來ニ付テ餘リ不安、懸念ヲ
感ゼズニ、是デ以テ相當ナ期間遂行ガ出來
ルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○河野委員 只今調節米ノ問題カラ特別會
計ノ御説明ヲ願ヒマシタ、次ハ季節的調節
ノ問題ニ付テ御同致シマスガ、政府ハ此法
案ニ依ッテ最高、最低ノ價格ヲ御決メニナ
リマスガ、其間ニ於キマシテノ理想價格ト
云フモノヲ御有チニナリマスカドウデス
カ、即チ大體此位ノ値段ニシテ置クノガ一
番適當デアアル、現下ノ經濟情勢、農村ノ經
濟事情ニ於テハ、此位ノ値段ニシテ置クノ
ガ適當デアアルト云フヤウナ價格、詰リ生産
費ニ依ル最低價格ヲ二十一圓ト致シマスナ
ラバ、家計費ニ於テ二十九圓、假ニ其間ニ
於テ二十五圓ナラ二十五圓ト云フ目標ヲ以
テ、ソコデ季節的調節トカ、買換トカ云フ
ヤウナコトノ發動ヲ爲サル御意思ヲ以テオ
遣リニナルノカ、乃至ハサウ云フコトヲ全
然考慮セズ、其上値、下値ト云フモノ、間ニ
於テ、自由勝手ニ下値ヲ割ラナイ程度、上
値ヲ割ラナイ程度デ、何時モ勝手ニオ遣リ
ニナル御見込カ、其點ヲ一ツ伺ヒタイと思
ヒマス

○後藤國務大臣 一般經濟界ノ狀況、ソレ
カラ米ノ需給ノ關係カラ米價ガドノ邊ニ落
著イタナラバ、ソレガ生産者カラ見テモ、
消費者カラ見テモ理想的ノモノデアラウト
云フヤウナコトヲ漠然考ヘルコトハ出來ル
ダラウト思ヒマス 無論事情ニ依ッテ常ニ
ソレハ變化シナケレバナリマセス、ドウモ
カッキリト何圓ト云フ理想ヲ以テ、色々ナ米
穀政策ヲ行フ譯ニハ參ルマイト思ヒマス、
唯成ベク最高値ニハ近付カズ、最低値ニハ
近付カナイヤウニアリタイト、斯ウ云フ希
望ヲ有ツコトハ出來ルダラウト思ヒマス、
此季節的ノ調節ハ、矢張サウ云フコトヲ希
望スルカラヤルノデハアリマスルガ、併シ
遣方ハ數量ノ調節ト云フモノヲ一定ノ標準
ニ從ッテ行ッテ參ッテ、自然ニサウ云フ結果ガ
來テ、下値、上値ニクッ付クト云フコトハ、
出來レバ避ケサセタイ、是ハ米穀法運用ノ
上カラ言ッテモ、サウ云フコトガ有益デアラ
ウ、サウ云フヤウナ考デ居リマス

○河野委員 私ハ此際出來ルコトナラバ家
計費ニ依ル所ノ最高ト、生産費ニ依ル最低
ノ價格ノ大體ノ農林省ノ目標ガ御聽キ出來
レバ結構デアリマスガ、恐ラクソレハ出來
ヌト思ヒマスガ、吾々ガ想像シテモ其價格
ニ於テ八圓乃至十圓位ノ開キガアルト想像
サレルノデアリマス、サウスルト先日モ村
松君カラ御質問ガアリマシタ通り、又或ル
新聞ノ論說ニモ書イデアリマシタ通り、最
近ノ統計ニ依テ見マシテモ正米ノ米價ノ一
年間ノ開キト云フモノハ極ク少イノデアリ
マス、極ク最近ニ於テ十何圓ニナッタ以外ニ
ハ、大抵五圓、七圓ト云フ開キニ在ルノデ
アリマス、サウ致シマスト現行米穀法ニ依
テ、世間カラハ餘リ期待サレナイ、非常ニ
詰ラナイモノデアアルト云フ程度ノ施設ヲ政
府ハヤッテ居ッタニモ拘ラズ、米價ノ開キハ
五七圓ノ開キデアアル、ソコデ今回政府ガ出
サレマシタ統制法案ハ、之ニ依テ米穀政策
ニ付テ劃期的施設ヲ行フ、根本の方策ヲ樹
立シタト仰ッシャルガ、此法案ニ依テサウシ
タ大キナ開キノ中ニ追込マレルモノナラ
バ、放ッテ置イテモ追込マレルノデアリマ
ス、而モ六十三議會ニ於テ定メラレマシタ
所ノ、最低價格ヲ生産費ニ依テ定メルノダ
ト云フノト、今回ノ米穀法トノ間ニハ、米價
ヲ時價デ買フノト、最低價格ノ値段デ買入
レルト云フ相違ハアルケレドモ、時價ニ依
テ買ッテモ、ソレヨリ下レバ買フノデアリマ
スカラ、必ズ常ニソレヨリ上ニ置カレルコ
トハ、政府ノ施設其宜シキヲ得レバ當然デ
アリマス、サウ致シマス此二ツノ法案ノ

間ニ何等ノ變化モナイト云フコトニナリマ
ス、ソコデ如何ニシテ政府ガ此最低最高價
格ヲ縮メルカ、私達ガ考ヘマスノニ、統制ト
云フ以上ハ、放ッテ置クヨリモ、ソレ以上ノ或
ル區間内ニ押込ムト云フコトガ統制デア
ルと思フ、放ッテ置イテモソレヨリ酷クナ
ラヌ、斯様ナモノデアアルナラバ統制デハナイ、
統制ハ統制デアアルガ無統制デアアル、而モ大
臣ガ成ベク下値ニクッ付カヌヤウニ、上値ニ
クッ付カヌヤウニシテ行キタイ、行キタイト
云フ希望ハ單ナル希望ノ程度ト解釋致シマ
スルト、現在ノ放任サラレタモノト大シタ
變リハナイヤウニ思ヒマス、更ニ進ンデ申
上ゲマスルト、先程モ宮崎委員カラ御質問
ガアリマシタ通り、家計費ナルモノハ、吾々
ト致シマスト頗ル不満足ナモノデアアル、家
計費ニ依ル米價ト云フモノハ不満足ナモノ
デアアル、生産費ハ絕對的ノモノデアアル、ソ
レダケ現實ニ農家ガ支出シテ、一步モソレ
以上ハ讓歩出來ヌト云フ追込マレル所ノ
米價デアアル、而モ家計費ニ至リマシテハ、
其間ニ於テ調査ノ確信ガナイト云フ御答辯
デモアリマスカラ、是ハドウ考ヘマシテモ
絕對的ノモノトハ考ヘラレヌノデアリマ
ス、一部ニハ家計費ニ依ル米價ヲ恰モ生活
線ヲ冒スヤウナ、生命線ヲ冒スマヤウナ議

論ヲ爲サレル人ガ世間ニ往々アリマスガ、私ハ米價ガ上ル時ニハ一般ノ收入モ殖エテ來ルト云フコトデアリマスカラ、米ノ値ノ上ルコトハ私ハチットモ苦ニ思ハヌ、又上ッテハ困ルト云フ人ハ社會的施設ニ依ッテ救済スルナリ、救済スベキ階級ノ人デアリマシテ、米穀政策ニ依ッテ之ヲ云々スベキ階級ノ人デハナイ、斯ウ確信シテ居ルノデアリマス、ソコデ今大臣ノ御説明ノヤウニ致シマス、折角ノ非常ナ誠意ト熱意ヲ以テヤラレル政府ノ米穀施設ガ甚ダ期待ノ薄イモノデアル、農村ト致シマシタナラバ、餘リ割ノ宜クナイ生産費ニ下値ヲ押ヘテ貰フト云フダケノ保護ヲシテ貰フト云フダケデ、ソレ以上ノ期待ヲ絶對ニ有ツコトハ出來スト云フ結論ニナリハセヌカト思フノデアリマス、其點ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 此新制度ハ、今ノ米穀法ニ較ベテ私ハ洵ニ有力ナモノデアッテ、今ノ米穀法ノ運用ニ依ッテ期待シテ居ル所ヨリモ、ズット有力ナ結果ヲ生産者ノ爲ニモ、亦消費者ノ爲ニモ與ヘルモノデアルト私ハ信ジテ居リマス、實際今ノ米穀法ノ下ニ於テモ、正米ノ値段ハ割合ニ開キガ少ナクナッテ居ルト云フコトヲ仰セラレマシタガ、今

度ノ新制度ガ出來マスレバ、正米ノ値段ノ開キガ寧ロ確實ニ相當狹イ所ニ落著クト云フコトニナルデアラウト思フノデアリマス、家計費ニ付テノ御議論ハ、最前カラ伺ッテ居リマスガ、是ハ可ナリムヅカシイ問題デアリマス、今迄ノ家計費ヲ調べタ結果ヲ以テ、直チニ之ヲ實際ニ應用スル確信ヲマダ有チ得ズニ居リマス、併シ米價ノ最低値ト云フモノヲ考ヘル時分ニハ、消費者ガ凡ソ堪ヘ得ル限度ト云フモノヲ一ツノ目安ニ考ヘルコトガ理論的デアリ、出來得レバサウ致シタイト云フコトガ、此新制度デ家計費ノ標準ノ一ツトシテ考ヘテ居ル所以デアリマス、今回ノ最高、最低ノ公定價ヲ決メテヤルト云フコトダケデハ、生産者等カラ見レバマダ十分デナイト云フ御感ジガアルコトハ、是ハ決シテ私モ無理トハ思ヒマセヌ、併シ之ニ付テハ更ニ他ノ色々ナ施設ガ是マデモ行ハレ、今後モ行ハレヤウトスル施設ガ行ハレナケレバナラヌノデアリマス、前ノ生産統制ノ問題ノ如キモ其一ツデアリマセウ、又自治的統制等ニ依ッテ、生産者ノ側ガ鞏固ナ經濟的地歩ヲ固メテ行クト云フヤウナ事柄モ一ツノ方法デアリマセウ、是ハ既ニ此經濟力ヲ強メルト云フコトニ依ッテ贏得テ來ナケレバナラヌコトデア

ルト思フノデアリマス、最高最低ノ幅ガ茲ニアルト云フ事柄ガ、現在ノ此自由經濟ノ一般ノ組織デ他ノ部分ガ皆サウナッテ居ル時ニ、米ノ方ダケガ假リニ唯一ツノ値段デ公定サレテシマッテ、上ニモ下ニモ行カヌト云フコトニナリマスレバ、恐ラク配給竝ニ需給ノ自然ノ流れト云フモノガ動キ難クナルダラウト思フノデアリマス、相當ナ程度ノ茲ニ幅ガアルコトニ依ッテノミ必然ノ茲ニ配給ノ運行ガ出來ルノデアリマス、唯ソレガ色々ナ假需要、其他ノコトノ爲ニ、又一時ノ色々ナ人氣、經濟界ノ變動ノ爲ニ非常ニ不利益ニ消費者ノ爲ニ動クコトノナイヤウニ、生産者ノ爲ニハ相當安定ナ基礎ノ所ヨリ動カヌヤウニ、法ノ運用ニ依ッテヤッテ行クト云フコトデ、今ノ場合満足ヲシテ參ルト云フ外ハナイト考ヘラレルノデアリマシテ、ソレデ今マデヨリハ餘程進ンダ好イ結果ガ得ラレルコトニナルト信ジテ居ルノデアリマス

○河野委員 次ニ具體的ニ少シク伺ッテ見マスガ、兎ニ角吾々ノ想像致シマス所デハ、朝鮮ノ米ノ生産費ガ一番安イト思フノデアリマスガ、朝鮮ノ米ノ生産費、昨年度デモ一昨年度デモ宜シイノデゴザイマス、ソレヲ伺ヒタイ、朝鮮ノ米ノ生産費ト内地ノ府

縣ノ中デ一番高ク掛ッテ居ル、是ハ笹棒ナ北海道ノ百圓トカ掛ッテ居ルノハ別トシテ、常識的ニ想像出來ル各府縣ノ平均ノ生産費デ結構デスガ、ソレト較ベタ場合ニドンナ開キガアルカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 朝鮮米ノ生産費問題デアリマスガ、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ朝鮮總督府ノ方デハ發表スベキ生産費ヲ有タヌサウデアリマス、隨テ今ノ御尋ニ御満足ノ出來ルヤウナ御返事ハ致シ兼ねルノデアリマス、其點ニ付テ若シ何デアリマシタラ今一應拓務省ノ方ニデモ念ヲ押シテ見マスガ、只今デハ一寸御返事致シ兼ねマス

○河野委員 此米穀施設ヲ行ヒマス時ニ、生産費ガ非常ニ全國的ニ見テ不揃ヒデア、非常ニ安イ地方モアレバ高イ地方モアル、之ヲドウ云フ風ニ統制シテ、農家ニ比較的公平ナル最低價格ヲ決メテヤルカト云フコトハ、必然考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、而モ此平均生産費ヲ採ルコトニ吾々ハ非常ナ不平ヲ有ツ者デアリマスガ、併シ是モ大シタ生産費ノ變化ノ相違ガナケレバ、是ハ一國ノ行政上已ムヲ得スト諦メルノデアリマスガ、其間ニドレ位ノ生産費ノ開キガアルカ、或ル縣ノ一番安イ所ト高イ所ト較ベタナラバドノ位ノ開キガアル

ガ、マア我慢セイ、是ハ程度ノ問題デアリマス、其程度ヲ見較ベズシテ、ドノ位ノ開キガアルカト云フコトヲ調べズシテ、生産費ノ平均ニ依ッテ法ヲ運用ヲ爲サルト云フコトハ非常ニ間違ッタ考方デハナイカト思フ、而モ朝鮮ヲ此統制法ノ中ニ入レズニ、内地ダケヲ統制スル——朝鮮ノ方ニハ別ノ方法デ以テ、朝鮮ハ朝鮮米トシテ獨立シテ、移入ハ政府ガ管理スルト云フノナラ別デアリマス、併シ朝鮮、臺灣ヲ含メタ茲ニ統制ノ施設ヲ爲サントスル時ニ、朝鮮米ノ生産費ノ調査ナシニ、此法案ヲ御決メニナラウトスレバ、ソレハ非常ナ缺陷ダト思フ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイ

○荷見政府委員 朝鮮米ノ生産費ガ安イト云フコトハ、是ハ河野君ノ仰シヤル通りノモノト想像サレテ居ルノデアリマス、其程度モ略ボ吾々ガ此計畫ヲ樹テマス際ニハ、頭ニ描イテ居ルノデアリマスケレドモ、何シロ役所ノ仕事ト云フモノハ御承知ノ通りニ、公表セヌト言ハレルノヲ吾々ガ申ス譯ニハ行カヌノデアリマス、諄イヤウデアリマスガ、モウ一度拓務省ノ方ト御相談シテ申上ゲラレ、バ申上ゲルト云フ外仕方ガナイノデアリマス

○河野委員 ソレハ農林省ニハ分ッテ居ル

ガ、言ハヌト云フコトナラ又別ノ方法デ御尋スルノデアリマスガ、拓務省ニ聽カナケレバ分ラヌト云フコトデアリマスカラ伺ッタノデアリマス、大體私ノ見當デハ八圓カ九圓位ノ開キガアルノデヤナイカト想像致シテ居ルノデアリマス、若シ違ッテ居タラ更ニ御訂正ヲ願ヒマスガ、サウ致シマス、一石ノ生産費ガ八圓九圓ノ開キノアルモノヲ、平均シタ生産費デ之ヲ運用シテ宜シイカドウカ、一石ノ生産費ガ八圓九圓開キノアルモノヲ、其平均ノ生産費ニ對シテ朝鮮ハドノ位安クナッテ居ル、内地デ一番高イノハドノ位デアルト云フ程度ヲ聞イタ上デ、ソレナラ此平均生産費デ宜シイ、ダカラ此平均生産費デハイカヌノダト云フ議論ヲ吾々ハシナケレバナラヌト思ヒマス、其開キガ餘リニ違ッテ居ルナラ、其平均生産費デ施設セラレル安イ所ハ非常ナ恩恵ニ浴シマスガ、高イ所ハソレニ依ッテ毎年々々償ハナイ、米ノ最低價格ヲ生産費ニ據ラレタナラ、是等ノ地方ハ成立タナイト云フ結論ニナルノデハナイカト思フノデス、時間モ來マシタカラ、ソレヲ伺ッタ上デ、更ニ質疑ヲ進メタイト思ヒマス

○荷見政府委員 朝鮮米ノ問題ハ申上ゲナイト致シマシテ、只今ノ御問ニ對シマシテ

ハ内地米ノ生産費ノ問題ヲ申上ゲタラ宜イト思ヒマス、私共ガ調査致シマシタ所ニ依リマス、必シモ地方的ニ安イ地方、地方的ニ高イ地方ト云フモノハ著大ナ差異ハナイノデアリマシテ、同ジ地方ニ於キマシテモ非常ニ安イ生産費デヤッタモノモアリ、高イ生産費デヤッタモノモ、同ジ縣内ノ生産費調査ノ結果ニ出テ居ルノデアリマス、ソレデ大體最低ト申シマシテモ、低イ方ハ十四、五圓カラ、高イ方ハ三十圓位迄ノ間ノ開キニナルノデアリマスケレドモ、地方的ニ平均ヲ致シマスレバ、其縣ト縣トノ差ト云フモノハ非常ニ差異ハ縮マル、今申上ゲマシタヤウニ何分ノ一ト云フコトニナル、斯ウ云フコトハ申上ゲラレルト思ヒマス

○八田委員 朝鮮カラ移入スル米ノ數量ヲ各十箇年位ニ互ッテ調査シタ御報告ヲ願ヒマス、ソレカラ内地米ノ價格、米價ガ年々下落シテ居リマスガ、過去十年ニ互ル米ノ價格ノ御示シヲ願ヒタイ、臺灣米モヤハリ同ジコトデアリマスカラ、臺灣、朝鮮ノ移入米ノ各別ニ對スル年度分、ソレカラ内地米ノ價格、斯ウ云フモノ、御示シヲ願ヒタイ、今デナクトモ後デモ宜シウゴザイマス

○荷見政府委員 只今ノ米價ノ表ハ月別ノ表デゴザイマセウカ

○八田委員 年別デ宜シウゴザイマス

○荷見政府委員 ソレデスト只今御話ノ朝鮮、臺灣ノ移入米ノ數量、月別ノ價格、又ハ米價指數、物價指數、其他ハ米穀要覽ニ差上ゲタ中ニアリマス

○東委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス

午後零時三十一分散會

昭和八年二月二十一日印刷

昭和八年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所